

2021年5月期 第2四半期

決算説明会資料

—— 企業のIT支援を通し、人々、社会を幸せにしたい ——



株式会社パシフィックネット

2021年1月26日

本決算説明会動画視聴について

下記URLにて、ご視聴いただけます。
(2021年7月25日まで)

https://www.bridge-salon.jp/movie/3021_20210125_600f89061234a/

連結業績 第2四半期累計（6～11月）

特別賞与等 約36百万円の追加コストを計上も、

- ・ 四半期（9～11月）…各利益で過去最高
- ・ 累計（6～11月）…半期での過去最高更新（売上高・各利益）

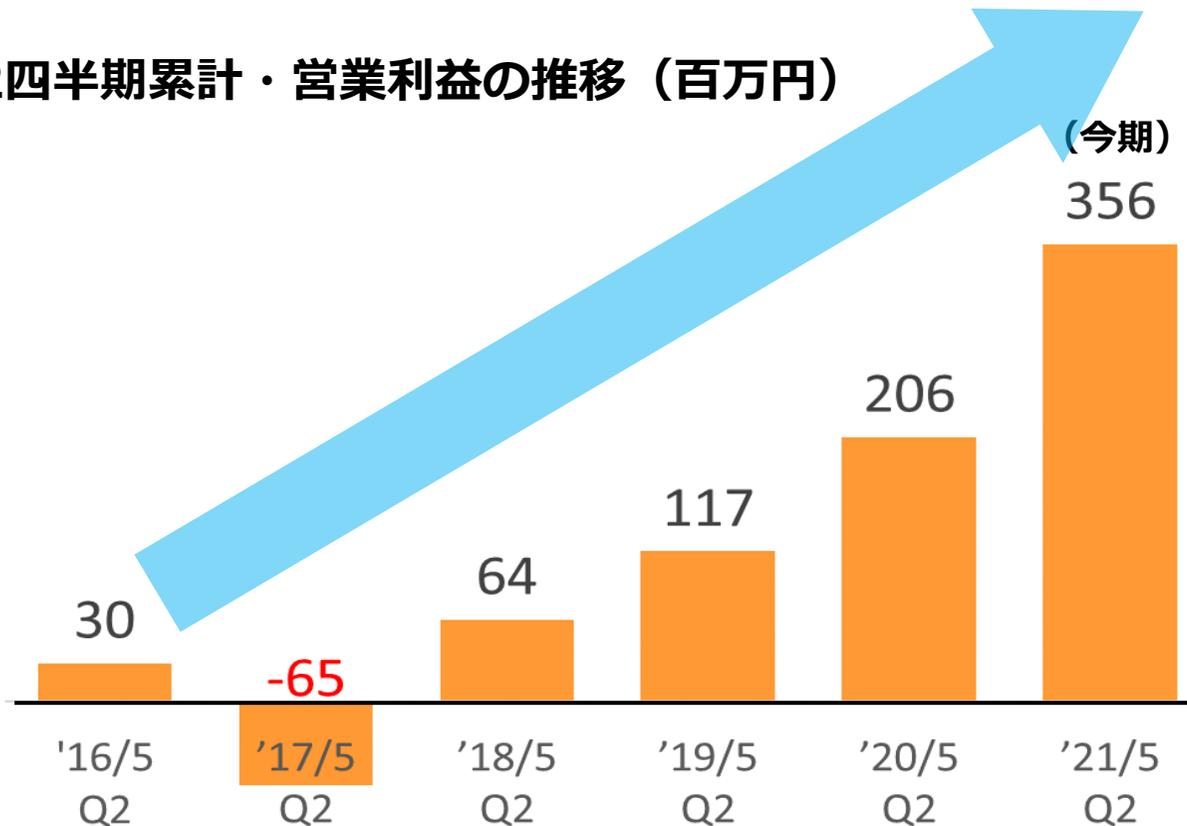
（単位：百万円）

	2020年5月期 第2四半期	2021年5月期 第2四半期	前期比 増減率	通期予想	通期予想比 進捗率
売上高	2,196	2,475	12.7%	5,000	49.5%
営業利益	207	356	72.6%	500	71.4%
売上高営業利益率	9.4%	14.4%	+5.0ポイント	10%	—
経常利益	205	355	73.2%	500	71.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	130	238	83.4%	330	72.3%
EBITDA	657	992	51.0%	—	—

営業利益の推移 第2四半期累計（6～11月）

- ・ 4期連続の営業増益
- ・ 半期業績として、過去最高の売上高・各利益
- ・ 事業構造改革および社内DX等の生産性向上策の効果

第2四半期累計・営業利益の推移（百万円）

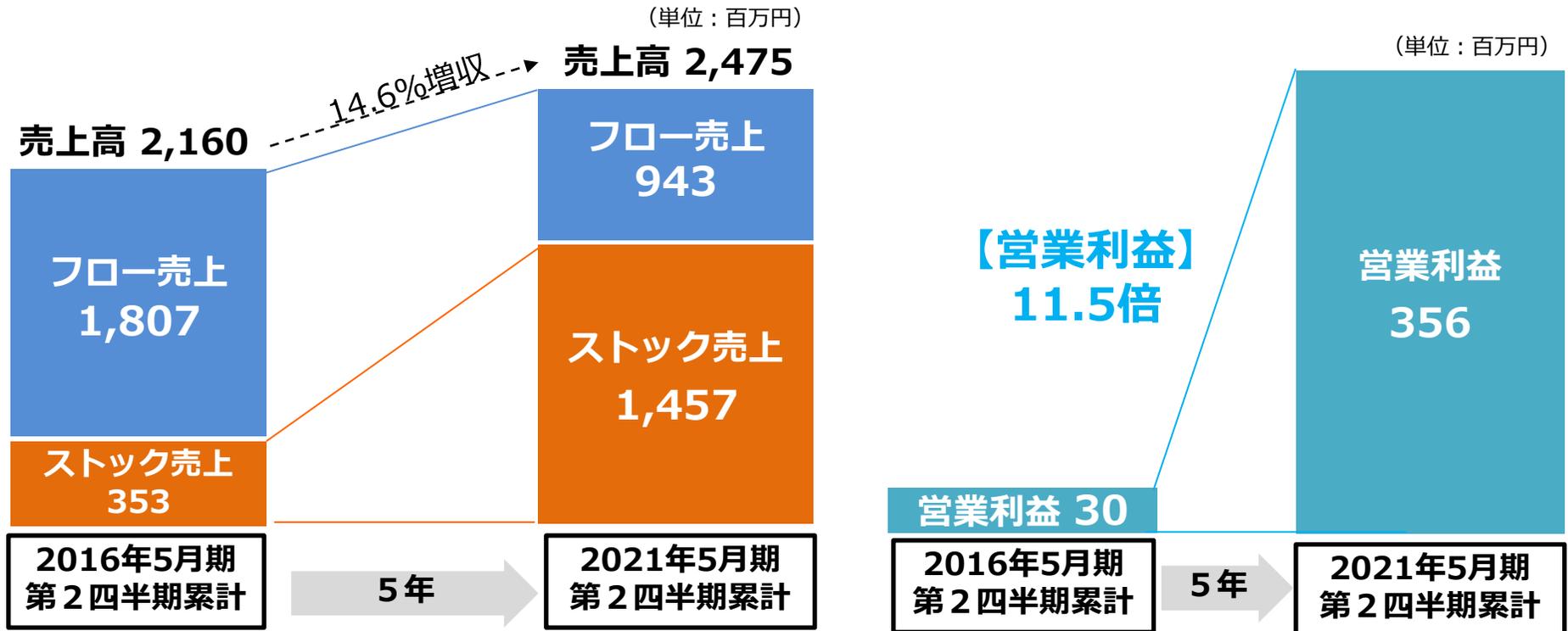


事業構造改革の成果（5期前との比較）

環境変化に強く持続的成長が可能な収益構造に転換

【ストック】 規模拡大を重視・積極投資 → **売上高4倍に**

【フロー】 規模より利益重視 → **利益額は大幅向上**



構造改革の成功要因

5年間で従業員の意識が変化
自律的に改革を進めている



サービス価値と生産性の向上を実現

【経営方針】

全従業員総活躍企業！

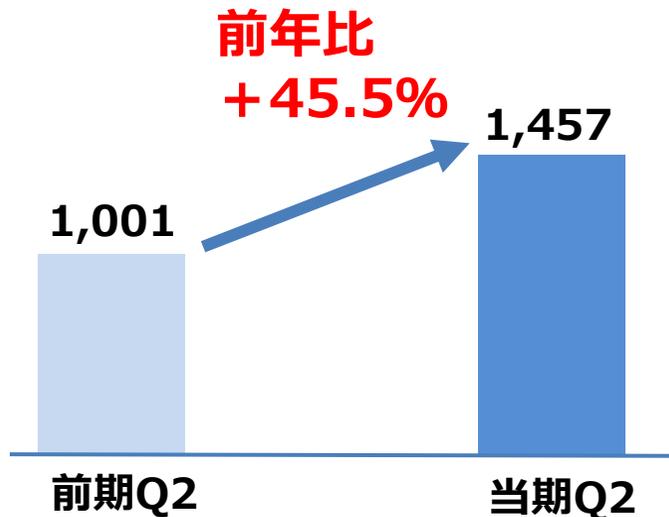
セグメント情報 第2四半期累計（6～11月実績）

ITサブスクリプション事業

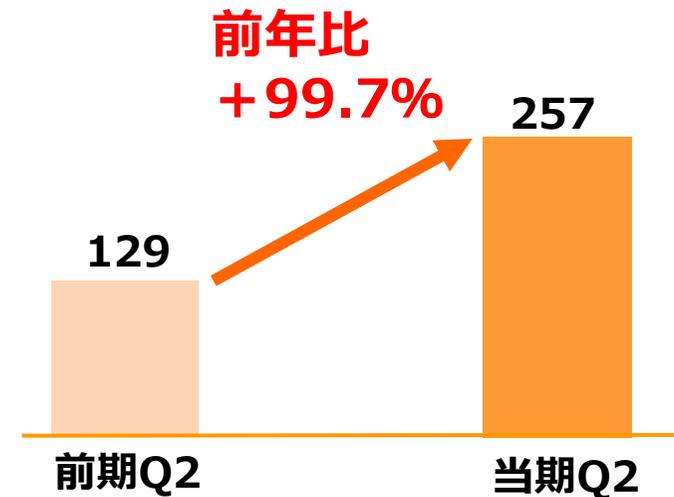
- ・情報機器のサブスクリプション（中長期レンタル）での提供
- ・運用保守・通信・クラウド等のITサービス

- ・ **最重要戦略として積極投資。**
前年同期比で売上高は約1.5倍、営業利益は約2倍に拡大
- ・ サブスク商談は9月末から回復傾向
クラウド新サービス（Autopilot等）の商談も進む

売上高（百万円）



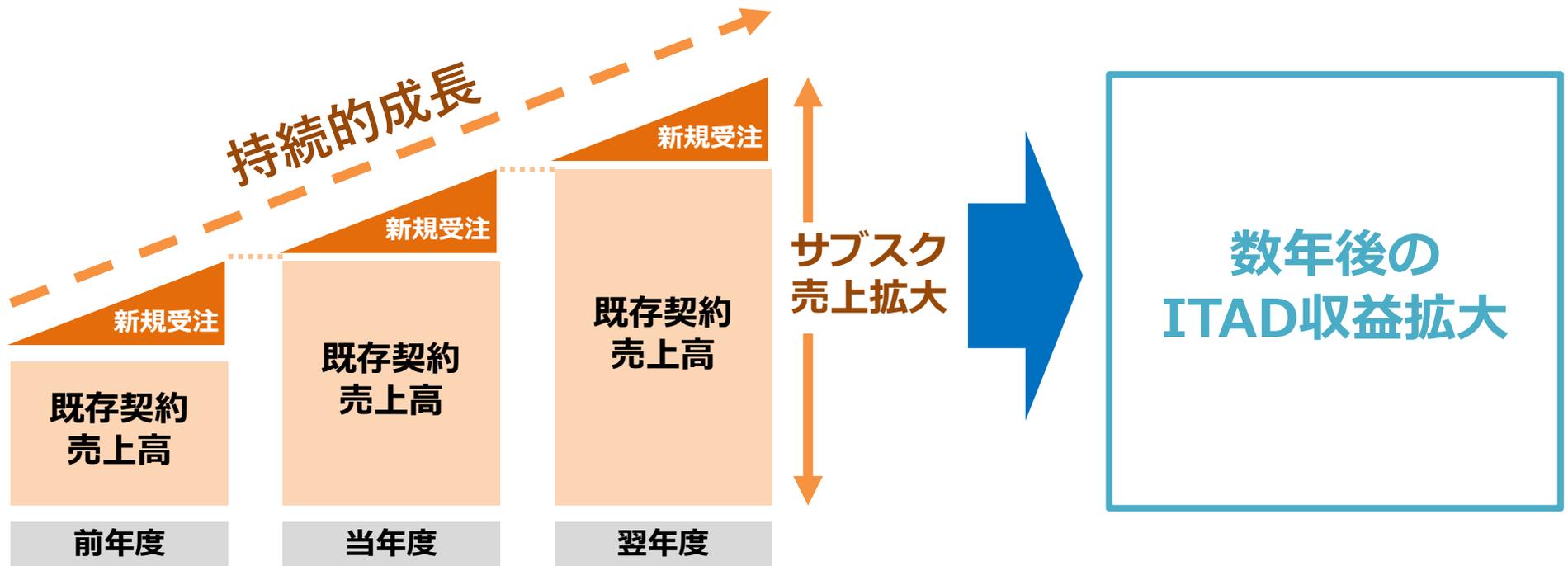
セグメント利益（百万円）



セグメント情報 第2四半期累計（6～11月実績）

ITサブスクリプション事業の拡大を最重要課題とする理由

- ① 成長率が高く、市場規模大きい（中長期レンタル、ITサービス）
- ② ストック収益化、持続的成長が可能
- ③ ITAD事業の収益へ寄与



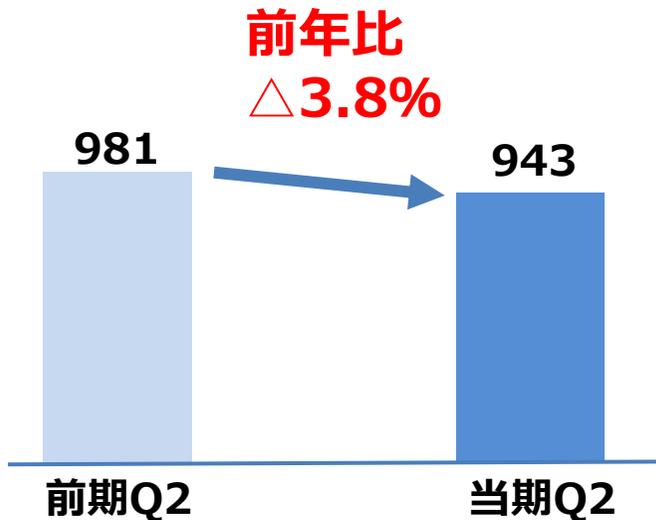
セグメント情報 第2四半期累計（6～11月実績）

ITAD事業

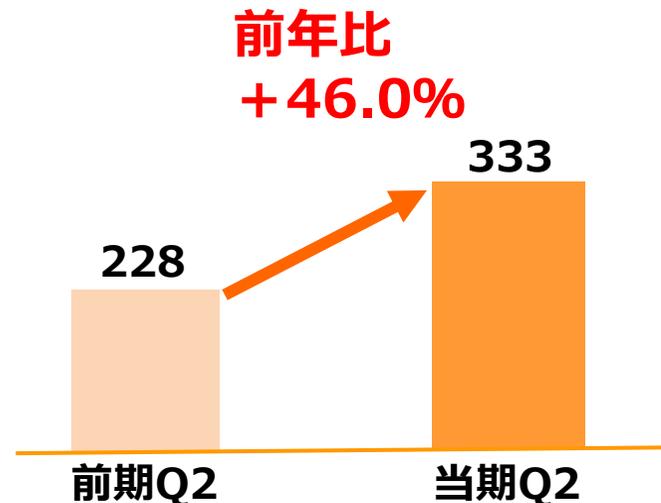
- ・使用済みIT機器のセキュアな回収、データ消去
- ・リユース・リサイクル販売、適正処分

- ・売上高は微減も、**営業利益は前年比約1.5倍に**
- ・**生産性向上策**が奏功、利益率が向上
- ・**データ消去**は引き続き高水準

売上高（百万円）



セグメント利益（百万円）



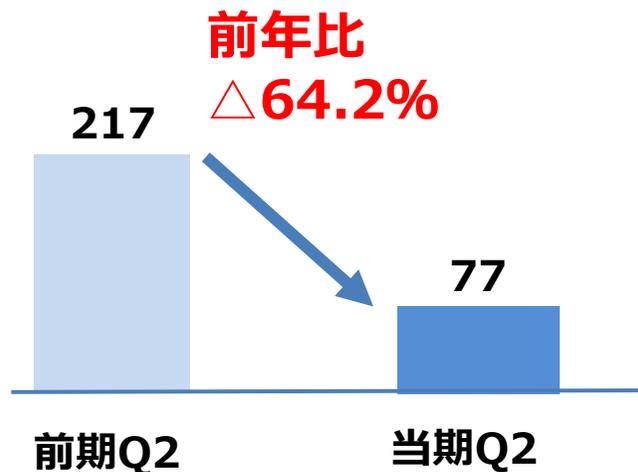
セグメント情報 第2四半期累計（6～11月実績）

コミュニケーション・デバイス事業

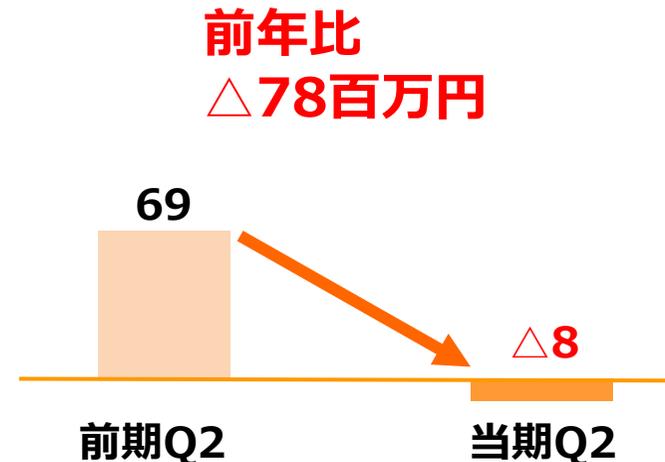
・イヤホンガイドの製造販売、
レンタル、保守・メンテナンスサービス

- ・ 観光需要の打撃大も、連結業績に与える影響は限定的
- ・ 日本旅行業協会のガイドライン化
（ツアーでのガイドレシーバー利用）で問い合わせ増加
- ・ 国内ツアーでの活用で新たな市場創造

売上高（百万円）



セグメント利益（百万円）



連結業績予想について

- ・ 下期は、**過去最高だった上期を上回る見通し**
- ・ 各利益の**通期予想・進捗率は70%超も、通期予想は修正せず**
 コロナ禍感染爆発の発生や緊急事態宣言が長期化すると影響あり

	下期（12～5月）の予想		
	前年比	上期比	
ITサブスクリプション事業	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ クラウドサービスは受注拡大 ・ 短期レンタルも堅調に推移
ITAD事業	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 回収依頼案件が本格化 ・ データ消去受注は依然高水準
コミュニケーション・デバイス事業	▲	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光需要次第 ・ 連結業績への影響は限定的

○：拡大予想、—：横ばい予想、▲大幅減少予想

配当方針の変更について

■ 配当方針に、**DOE（純資産配当率）**を導入

- ・ DOEは「真の配当性向」と言われる指標
- ・ 当社の経営方針は「中長期的な持続的成長」
株主への利益還元も安定拡大する方針を具体化するため

変更前	配当性向30%以上
変更後	配当性向30%以上、 かつDOE（純資産配当率）5%以上

当社のDOE 過去3年間の平均5.6%

- ・ 17年で株主様へ株主資本をすべてお返ししたことになる
- ・ 全上場企業平均DOEは2.3%、当社は3,762社中269位

東京テクニカルセンター コロナ感染防止策について

サーモグラフィーカメラ



高感度サーモグラフィーカメラによる
全従業員の出勤時体温計測

密にならない広い空間



館内天井高5.5m 総面積3,213㎡
総従業員110名

24時間換気システム



産業用有圧換気扇 6基で強力換気
約2時間で全ての空気を入れ替え

ソーシャルディスタンス



作業エリアでは、
ソーシャルディスタンスを確保

出荷商品の消毒



お客様へ出荷する商品は入念に消毒

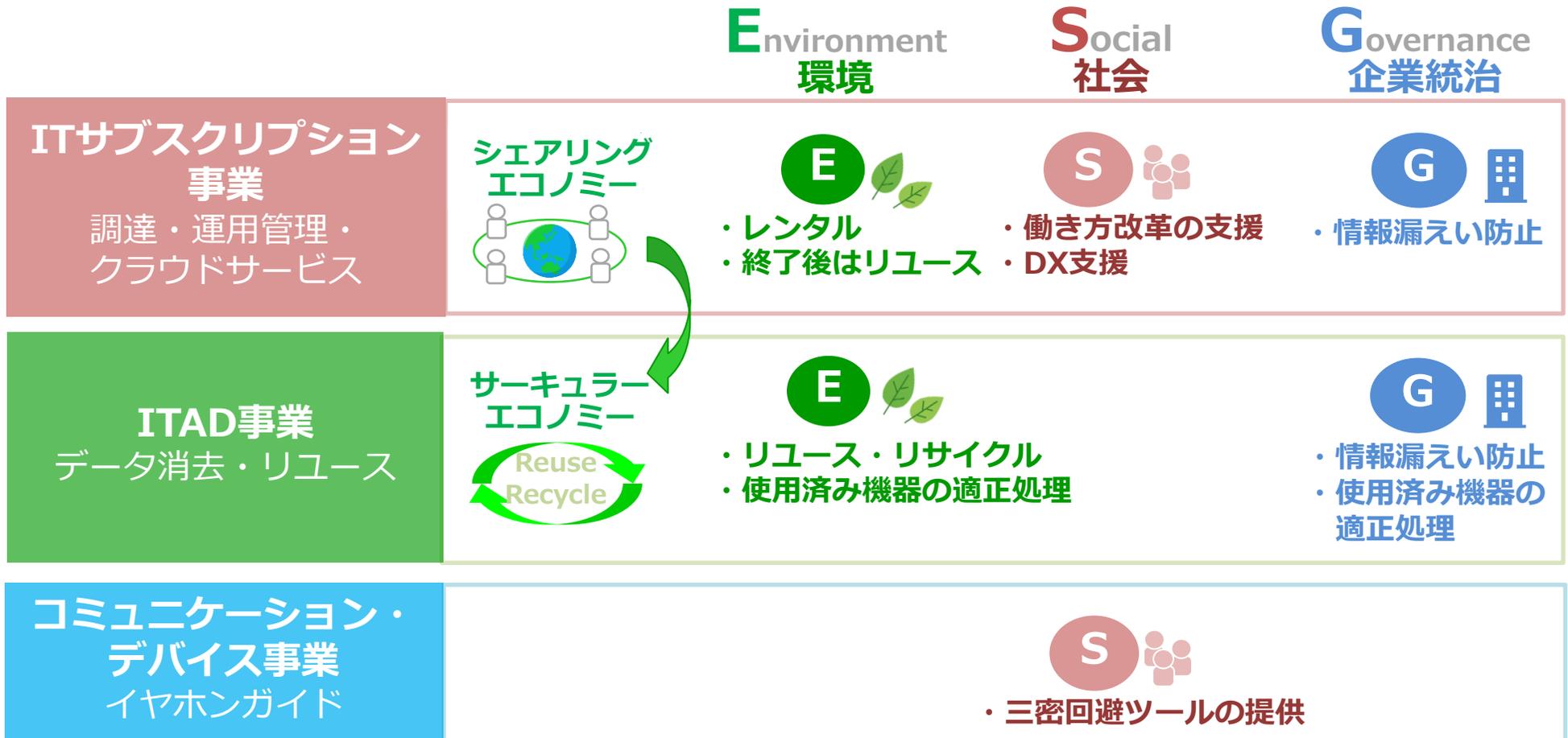
備品・設備の消毒



共通端末、ドアハンドル、ビジネス
フォン等を毎日2回消毒

ESGへの取り組み

各事業そのものが ESGの直接支援であり、社会的使命として推進



本説明会内容についてのご質問／IRに関するお問い合わせ

IR担当

部署： 経営企画室

氏名： 取締役副社長 大江 正巳

経営企画室長 高島 律夫

E-mail： ir@prins.co.jp

お問合せフォーム： <https://form.prins.co.jp/contact/ir/>

Tel： 03-5730-1441（月～金 9：00～17：45）

・将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。

また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。業績等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

会社概要

- 設 立： 1988年 7月
- 本 社： 東京都港区芝5-20-14
- 代表者： 代表取締役社長 上田満弘
- 事 業： ITサブスクリプション事業
ITAD事業
コミュニケーション・デバイス事業
- 従業員： 243人（連結、パート社員含む、2020年5月31日現在）
- 市 場： 東証第二部（証券コード3021）